

神奈川県地域防災拠点だより



暑い時期が長く続いたと思えば、急に寒くなり、秋らしい日が続いていますね。朝晩の寒暖差が大きい時期は体調を崩しやすくなります。皆様、ご自愛いただき、引き続き地域防災活動への御協力をお願いいたします。



区役所からの事務連絡



今年度新たに配備した備蓄品について

地域防災拠点での授乳体制を整えるため、今年9月に新たに液体ミルク24缶、ミルク調乳などに活用できるカセットコンロ・カセットボンベ・なべを1セット配備しました。防災訓練や備蓄庫整理時などに、御確認いただきますようお願いいたします。



液体ミルク(200ml缶)



カセットコンロ



なべ

ペットの一時飼育場所の選定について

災害発生時、地域防災拠点へ犬や猫等と同行避難をする飼い主がいます。ペット同行避難によるトラブルを減らすため、あらかじめペットの一時飼育場所を設定しておくことが大切です。

今年度、ペットの一時飼育場所の設定と報告について依頼をしております。「ペットの一時飼育場所事例集」も参考にしながら、設定検討をお願いいたします。

神奈川県生活衛生課でも御相談をお受けしておりますので拠点参加を通じて御連絡ください。

- 報告期限: 令和7年3月14日(金)
- 報告様式: ペットの一時飼育場所等報告書※
- ※ 報告書の様式はホームページからもダウンロードできます。



災害時ペットの一時飼育場所設置事例集



報告書様式

拠点コラム

～南海トラフ巨大地震について～

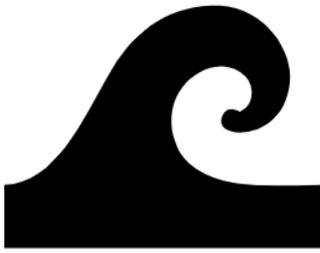
令和6年8月8日に宮崎県で最大震度6弱の揺れを観測した地震を受け、南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震への注意を呼びかける「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が初めて発表されました。また、その翌日(令和6年8月9日)にも神奈川西部を震源とする最大震度5弱の地震が発生し、強い危機感をもった方も多いと思います。

南海トラフ巨大地震が発生した場合、横浜市内では広い範囲で震度5弱～5強、一部で震度6弱の揺れがくると想定されます。横浜市における南海トラフ巨大地震の特徴や、神奈川区の被害想定は次のとおりです。

横浜市の南海トラフ巨大地震被害特徴

- ① 液状化による建物被害が、揺れによる建物被害を上回る
- ② 国内広域での被害が予測されるため、人材・物資等の不足が懸念される
- ③ 津波による建物被害や交通施設の浸水区間が、慶長型地震に次いで多数発生する

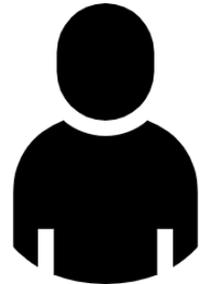
神奈川区の被害想定



建物被害棟数:3562棟
(津波浸水による全半壊)



建物被害棟数:330棟
(液状化による全半壊)



津波による死者数:32名

南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて

臨時情報に伴う特別な呼びかけは終了していますが、地震はいつ起こるか分かりません。発災時に地域防災拠点をスムーズに開設・運営するには、日頃からの備えが重要です。

- ・ 拠点開設マニュアルや鍵の所有者を今一度確認してください。
- ・ 拠点訓練実施後は、訓練の振り返りをお願いします。
訓練で上手くいった点、改善した方がよい点などを振り返ることで課題が明らかになり、発災時の拠点開設・運営の際にも役立ちます。

防災の意識を向上させるためにも訓練は必ず実施しましょう。
訓練を実施するときは、けが等に気を付けてください!
次回の地域防災拠点だよりは、冬頃の発行を予定しております。

